

⑩ 1991年輸出のインテグラー別シェア

表 B-57 の、輸出をおこなったインテグラーは、表 B-58 のとおりである。

表 B-58 加仔輸出のインテグラー別生産量 (千ト, 1991年)

インテグラー	州	部分肉	丸と体	計	%
1. PERDIGAO	SC	28.3	39.8	68.1	21
2. SADIA	SP	11.7	34.7	46.5	14
3. CEVAL	SC	15.3	30.7	45.9	14
4. LAPA	PR	10.1	28.9	39.0	12
5. FRIGOBRAS	SP	5.5	20.4	25.9	8
6. PERDIGAO	SP	12.4	10.4	22.8	7
7. CHAPECO	SC	1.9	19.7	21.6	7
8. FRANGOSUL	RS	3.9	13.2	17.1	5
9. その他	-	29.4	5.4	34.8	12
計		118.5	203.2	321.7	100

資料: ABEF, 1992

⑪ 加仔生産費(表 B-59, 1992年3月現在, US\$ へス, 1,000羽入け)

表 B-59 加仔生産費

1. 売上高	肥育体重 1.900kg	@ US\$ 0.64/kg	US\$	1.216千
2. V コスト	①1,000羽け代	@ 0.17/羽		170(16%)
	②スターター 960kg	@ 209/ト		201
	③grower 2,170kg	@ 196/ト		425
	④フィニッシャー 1,050kg	@ 178/ト		187
	飼料費			813(75%)
	⑤ワクチン、薬品類			21
	⑥敷料			16
	⑦電気料 200KWH/千羽			12
	⑧水 13kg x2本			15
	⑨労賃			29
	⑩修繕費			11
	小計			104(10%)
	計			1.087(100%)
3. 生体 1kgあたり生産費				0.57
4. 限界利益				129
限界利益率(%)				11
5. F コスト(固定費)				45
6. 粗利益				84

資料: 筆者試算

⑫ 肉用鶏飼料の生産

加仔用飼料の1980-1991年の生産動向は、表 B-60 のとおりである。

表 B-60 加仔用飼料の生産動向 (千ト)

	1980	1982	1984	1986	1988	1990	1991
配合飼料	2.482	2.207	2.396	2.652	2.790	3.530	3.581
濃厚飼料	1.712	1.248	550	432	308	371	630
計	4.194	3.455	2.946	3.084	3.098	3.901	4.211
自家配合	+	1.962	2.001	2.403	3.078	3.556	3.966

資料: SINDIRACOES(飼料工業会), 1992

⑬ 飼料原料使用量

加仔用飼料消費量は、枝肉歩留 78%、飼料要求率 2.5 として計算する。鶏肉生産が 2.600 千ト(1991 年)であるから、生体重量に換算すると、3.333 千トである。これに、飼料要求率 2.5 をかけて、8.332 千トの飼料を消費していることになる。

平均的配合割合にもとづく、原料消費量は、表 B-61 のとおりである。

表 B-61 加仔用飼料原料使用量 (百万ト)

	トウモロコシ	大豆	肉骨粉	アズ	炭灰	DCP(※)	食塩
配合率(%)	67.0	25.0	4.4	1.2	0.7	0.2	0.3
使用量	5.58	2.08	0.37	0.10	0.06	0.02	0.02

資料: 筆者試算

⑭ 流通段階における価格動向

鶏肉の流通段階での価格動向(ツバサ市場、US\$/KG)を6月(真冬)と12月(真夏)にわけて、調べたのが、表 B-62 である。

表 B-62 流通段階における鶏肉価格動向

	1987	1988	1989	1990	1991
6月生産者(※)					
卸売	0.50	0.51	1.36	0.86	0.63
小売	0.95	0.81	2.07	1.40	1.06
12月生産者(※)					
卸売	1.09	0.88	2.29	1.48	1.07
小売	0.55	0.58	0.85	0.85	0.63
卸売	0.94	0.96	1.36	1.53	1.07
小売	1.03	1.06	1.51	1.66	1.13

(※) 生体価格

資料: APA, 01/92

[9] 産卵鶏

① 産卵鶏飼養羽数

1991年12月のAPA(パウスタ 養鶏協会)の見通しによれば、1992年の産卵鶏羽数は、表 B-63のとおりである。

表 B-63 全国産卵鶏飼養羽数(百万羽)

地方	州	赤玉鶏	%	白玉鶏	%	計	%
1. 北部		0.1	1	1.3	3	1.5	3
2. 東北部		1.4	10	7.0	16	8.4	14
3. 東南部	オハヨ	4.2		19.7		23.9	
	ミスシライ	1.2		5.0		6.2	
		1.3		1.5		2.8	
	小計	6.7	47	26.2	59	32.9	56
4. 南部	オランダスル	2.5		2.3		4.8	
	バナ	1.3		4.3		5.6	
	サタカサ	1.2		0.1		1.3	
	小計	5.0	35	6.7	15	11.7	20
5. 中西部		0.1	7	2.9	7	3.9	7
6. 全国		14.1	100	44.2	100	58.3	100

資料: APA, 12/91

② 鶏卵生産量予測

おなじく APAによる 1992年の月間生産予測は、表 B-64のとおり。

表 B-64 全国鶏卵月間生産予測(30ヶス いる百万箱)

地方	州	赤玉	白玉	計
1. 北部		7	75	82
2. 東北部		75	410	485
3. 東南部	オハヨ	238	1.114	1.352
	ミスシライ	72	283	355
	その他	76	91	166
	小計	386	1.488	1.873
4. 南部	オランダスル	146	134	280
	バナ	76	242	318
	サタカサ	72	5	78
	小計	294	381	676
5. 中西部		58	40	98
6. 全国		819	2.515	3.334

資料: APA, 12/91

この予測からいけば、1992年は、産卵鶏 58 百万羽で、400 億箱(30 ㌉)を生産する。
1 羽あたり生産性は、246 卵(20.5 ㌉)とみている。

③ 鶏卵生産関係のデータ(表 B-65)

1- 産卵鶏羽数	1987	1988	1989	1990	1991
㌱ ㌱州	25.7	23.8	21.6	23.2	23.4 (百万羽)
全 国	63.8	61.0	50.7	55.5	56.6
2- 鶏卵生産量					
㌱ ㌱州	17.3	16.1	14.5	15.6	15.7 (10億箱)
全 国	42.8	41.3	33.8	37.4	37.9
3- ヒ販売羽数 (白)					
㌱ ㌱州	17.9	15.4	17.4	18.1	18.7 (百万羽)
全 国	42.0	34.2	40.7	41.0	43.1
4- ヒ販売羽数 (赤)					
㌱ ㌱州	5.1	4.3	4.2	3.7	4.1 (百万羽)
全 国	17.3	11.7	11.9	11.6	14.3
5- 種鶏羽数					
全 国 (白)	0.7	0.6	0.7	0.7	0.7 (百万羽)
全 国 (赤)	0.3	0.2	0.3	0.2	0.3

資料: APA, 12/91

④ 産卵用原種鶏業者 (表 B-66)

品種	原産国	メーカー	市場シェア(%)
1. HY-LINE	アメリカ	GRANJAS ITO(*)	45
2. ISA-BABCOCK	フランス	ISA AVICOLA	40
3. LOHMANN	ドイツ	GRANJA PLANALTO	15

(*) 日系

資料: ASI, ANUARIO 1991, 12/90

⑤ 鶏卵の規格、包装

鶏卵の規格(大きさ、卵径)は、EXTRA, GRANDE, MEDIO, PEQUENO, INDUSTRIAL の5つにわかれる。養鶏場から出荷する時は、30㌉(2.5 ㌉のエッグトイ 12枚)/箱であるが、小売流通段階では、エッグトイ(BANDEJA)のままか、1 ㌉パック に入れられる。

⑥ 鶏卵の価格変動

最近5年間の、エッグトイのままの、卸売価格の変動(US\$ベース)は、表 B-67 のとおり。

表 B-67 鶏卵（白玉）の価格変動（1987-1991年, US\$/ダース）

	EXTRA	GRANDE	MEDIO	PEQUENO	INDUSTRIAL
1987年 6月	0.64	0.62	0.58	0.53	0.50
12月	0.49	0.46	0.40	0.32	0.28
1988年 6月	0.50	0.49	0.48	0.46	0.43
12月	0.64	0.61	0.56	0.46	0.40
1989年 6月	1.66	1.58	1.51	1.36	1.20
12月	0.67	0.65	0.58	0.50	0.46
1990年 6月	0.94	0.90	0.83	0.69	0.60
12月	0.52	0.50	0.44	0.36	0.30
1991年 6月	0.65	0.61	0.60	0.51	0.46
12月	0.64	0.61	0.56	0.47	0.42

資料: APA, 12/91

全規格にわたって、ダースあたり価格が、US\$ 1.00をこえたのは、89年6月のみ。EXTRAの価格が、US\$ 1.00をこえたのは、89年5-8月、90年3-4月、7-8月のみである。

⑦ 飼料原料価格

1991年12月現在の主要飼料原料価格は、表 B-68 のとおり。

表 B-68 主要飼料原料価格(US\$/kg)

トウモロコシ	大豆	肉骨粉	アズキ	CGM(*)	炭酸	DCP(**)	メタリン	ソリン
0.12	0.19	0.21	0.09	0.27	0.02	0.32	5.45	1.17
(*) コーソ カルシウム				(**) 第2リン酸 カルシウム				

⑧ 鶏卵生産費（表 B-69 1991年, US\$ ペース）

1- 売上高	18,060ダース	@ 0.50/ダース	9,030
(860羽, 産卵率60%, 期間 14ヶ月)			
2- 若鶏育成費			
1. け代	1,000羽	@ 0.29/羽	290
2. 飼料	育成用 2,400 kg	@ 158/ト	379
	育成用 4,800 kg	@ 145/ト	696
3. 薬品			134
4. 労賃	0.3名 X 6ヶ月 X US\$ 120		216
小計(Vコスト)			1,715

3-	産卵期間費用						
1.	飼料	産卵用	36.400 kg	@ 150/ト		5.460	
2.	薬品					60	
3.	労賃	0.3名 X 14ヶ月 X US\$ 120				504	
	小計(Vコスト)					6.024	
4-	鶏卵生産費	252卵(21dz)/14ヶ月/羽 X 860羽				7.739	
	(Vコスト)	1ダースあたり 生産費				0.43	
5-	限界利益					1.291	
		1ダースあたり限界利益				0.07	
6-	固定費(Fコスト)					2.285	
7-	粗利益					▲ 994	

資料: 筆者試算。

⑨ 採卵鶏用飼料生産

SINDIRACOES(飼料工業会)の資料によれば、表 B-70 のとおり。

表 B-70 採卵飼料生産量 (千ト)

	1980	1982	1984	1986	1988	1990	1991
配合飼料	1.058	640	633	764	904	926	938
濃厚飼料	1.541	1.138	697	583	350	325	385
計	2.599	1.778	1.330	1.347	1.254	1.251	1.323
自家配合	+	1.190	1.096	1.442	1.754	1.766	1.246

資料: SINDIRACOES, 1992

⑩ 飼料原料使用量

鶏卵 1箱 (30ダース)の生産に対して、50kgの配合飼料、育成期間中の飼料を30kgとして、計80kgと概算する。1990年の鶏卵生産量38百万箱 (30ダース)に対して、3.040千トの飼料が消費されている。産卵用と、育成用では、配合設計がことなるが、平均すると、表 B-71 のような、原料使用状況となる。

表 B-71 飼料原料消費量 (千ト)

	トウモロコシ	大豆	肉骨粉	大麦	炭灰	食塩
配合割合 (%)	63.0	17.0	4.7	6.3	7.5	0.3
原料消費量	1.915	517	143	192	228	9

資料: 筆者試算

⑪ 鶏卵の流通経費

鶏卵が、養鶏場をでてから、市場に着くまでの流通経費は、表 B-72 のとおりである。

表 B-72 鶏卵の流通経費(US\$ ベース、1箱30ダースあたり)

項目	包材(*)	運賃	税金	管理費	金利	販売費用	計
金額	1.82	0.82	0.31	1.39	2.62	1.51	8.47
%	21	10	4	16	31	18	100

(*) エッグトレイ、ダンボールケース、フィルム、ラベル

資料: APA(パウリスタ 養鶏協会), 01/92

⑫ 鶏卵消費量

鶏卵生産量(38 百万箱、137 億卵)を 150百万国民でわると 1人あたり91コとなる。1人あたり 100コをこえるのは、リオ州 111, ミナシヤパ州 115, エスピリト サント 120, パナ 100, リオ グラゲドスル 101 の 5州である。1980-1991 年の消費動向は、表 B-73 のとおり。

表 B-73 鶏卵消費の動向

	1980	1982	1984	1986	1988	1990	1991
1人当消費量	77	92	79	94	111	89	91

資料: ASI, ANUARIO 1992

⑬ 鶏卵、鶏肉と牛肉の価格比較(表 B-74、小売段階、US\$/kg)

	1989			1990			1991		
	鶏卵	鶏肉	牛肉	鶏卵	鶏肉	牛肉	鶏卵	鶏肉	牛肉
3月	0.83	1.37	1.71	1.54	2.44	3.83	0.73	1.40	1.99
6月	2.03	2.89	3.48	1.08	1.65	2.73	0.74	1.31	1.74
9月	0.98	1.88	2.28	1.27	2.78	3.62	0.82	1.37	2.46
12月	0.87	2.13	2.12	0.63	1.35	1.75	0.37	1.26	1.99
平均	1.18	2.07	2.40	1.13	2.06	2.98	0.67	1.34	2.05

注. 牛肉は肩肉(Accm, ショルダー、大衆肉)、鶏肉は冷蔵丸と体、鶏卵は白玉(大、ダース)。

⑭ APA - パウリスタ 養鶏協会

APA(Associacao Paulista de Avicultura, Rua Belchior de Azevedo, 150, CEP 05089 Sao Paulo, SP ☎ 011-832-1422)は、1956年、日系種鶏会社を中心となって設立された、養鶏関係団体である。現在、カイヤ、鶏卵、種鶏、孵卵、飼料、機器、医薬、組合の7部門(Divisao)によって、運営されている。□

IV. パラグアイ (PARAGUAY)

[1] 国のあらまし

① 沿革

国土面積 407千km²(日本 372千km²)。東西、南をアルゼンチンと、北と東をブラジルと、同じく北と西をボリビアと、国境を接している内陸国である。国土の中央を流れるパラグアイ河を境として、東部 (Oriental, 160km², 国土の39%)と、西部 (Occidental, チャコ Chaco 地方ともいう 247 千km², 国土の61%)にわけられている。

人口 4,300千人(1990年)。98%は東部に、僅か 2%(86千人)が西部に居住している。首都はアスンシオン (Asuncion, 人口 800千人)。主要都市は、エステ(Ciudad del Este, 旧称 プエルト ストロエスナー, Puerto Stroessner, ブラジルとの国境の都市, アスンシオンから真東へ330km)と、エンカーニシオン (Encarnacion, アルゼンチンのポサダス, Posadasの対岸都市, アスンシオンから東南へ370km)である。時差は、ブラジル標準時より15時間、日本より11時間早い。

② 政治

現大統領は、アンドレス ロドリゲス (Andres Rodriguez) 陸軍大将。前大統領 アルフレド ストロエスナー (Alfredo Stroessner) 陸軍大将(1912-)の、1954年から34年に及ぶ独裁政権を、1989年2月、クーデターで倒し、直ちに直接選挙の準備を行い、欧米の選挙監視団の下、同年5月、74%の得票を得て、前任者の残存任期である、1993年8月までの大統領職についている。

③ 人種構成

人種構成も、他の Merco Sur 3カ国と異なり、97%は、原住民 Guarani と、スペイン人の混血種からなるが、義務教育期間中、Guarani 語は、必修科目であり、全国民が、Guarani 語を理解出来る。

④ 行政組織

行政組織は、首都のほか19県 (Departamento, 東部 14 県、西部 5 県) にわかれている。

⑤ 通貨

通貨単位は、Guarani (G\$)。1992年3月の対ドル交換レートは G\$ 1.420。交換は自由である。

⑥ 国内総生産 (PIB, GDP)

国内総生産 (PIB) は、約44億ドル (ブラジルのGDPの約1.5%。人口はブラジルの3%)で、そのうち 30-35%を農畜産業が占めており、かつ、輸出は、小麦 40%、大豆 40%、牛肉 10%、その他 10%と、農業セクターに依存している。めばしい鉱産物も産出しない。

⑦ 電力

1973年、ブラジルとの協定以来18年、1991年5月、最後の第18基目のタービン (700 千kwh)の据え付け完了、両国大統領臨席のもと、イタイプ (Itaipu) 発電所は、世界最大の発電所として稼働し始めた。18タービンが稼働すると、12,600千kwhとなる。建設費は、1990年末の時点で、183 億ドル、直接投資95億ドル、金融費用88億ドルとなっている。余剰電力は、年額 2億ドルで、ブラジルへ売電している。輸出額(10 億ドル)の20%にあたる。

⑧ 貿易収支 (表 P-01)

最近10年間の貿易収支(百万円)は、次のとおり。

	1979	1981	1983	1985	1987	1989
輸出FOB	385	398	314	620	800	1.097
輸入C+F	577	772	622	727	935	1.171
収支 ▲	192	▲74	▲308	▲107	▲135	▲74

輸出は、農林畜産物が主体(82%)、輸入は、機械類、原油、工業製品、運搬機器等の非農産物が、88% となっている。輸出の30-35%、輸入の50-55%は、Mercosul諸国、特にブラジルである。

⑨ 農産物貿易

最近 8年間の農産物貿易の動向(表P-02)をみると、輸出の98% が農林畜産物である。

表 P-02 農産物貿易の動向(百万円)

◇ 輸出	1981	1983	1985	1987	1989	%
1. 農産物	241	229	281	273	826	82
-大豆	48	84	100	123	383	
-ワタシカ	129	85	142	101	307	
2. 畜産物	7	13	7	35	120	12
-冷凍肉	+	5	1	21	94	
-皮革	7	7	5	14	24	
3. 林産物	45	27	15	38	41	4
-木材	23	17	8	22	21	
-同製品	14	3	2	6	11	
4. 合計	293	269	303	346	987	98
5. 非農産物	3	+	+	8	22	2
6. 輸出合計	296	269	304	353	1.009	100

◇ 輸入

1. 食料嗜好品	55	35	37	44	49	7
2. 紙繊維製品	19	15	18	22	33	5
3. 非農産物	431	427	387	451	579	88
4. 輸入合計	506	478	442	517	661	100

資料：Estimacion de la Produccion Agropecuaria, MAG (農牧省), 1991

⑩ 1985-1989年の輸出構造

主要輸出品 5品目の 5年間の推移は、表 P-03 のとおり。

表 P-03 主要輸出品目の動向 (百万円)

	1985	1986	1987	1988	1989	%
1. 油料作物(*)	106	46	125	158	390	39
2. ワ	142	81	100	210	307	30
3. 牛肉	1	34	21	23	96	10
4. し好料作物(**)	+	+	1	11	46	5
5. 飼料	6	9	13	28	24	2
6. その他	49	63	93	80	145	14
計	304	233	353	510	1.008	100

(*) 大豆等。 (**) コーヒー、巧茶等。

資料: CUENTAS NACIONALES, 1989, BANCO CENTRAL DEL PARAGUAY

⑪ 畜産物の輸出実績

農牧省の資料による、畜産物輸出実績(1985-89年)は、表 P-04 のとおり。

表 P-04 畜産物の輸出動向 (百万円)

	1985	1986	1987	1988	1989
1. 牛肉	1.4	33.3	20.9	23.1	94.5
2. 原皮皮革	5.2	9.7	13.8	16.7	24.0
3. その他	0.2	1.0	0.4	0.2	2.0
計	6.8	44.0	35.1	40.0	120.5

資料: ESTIMACION DE LA PRODUCCION AGROPECUARIA, 1990

万が一さえあれば、牛肉生産を、3-5 倍にできるノウハウをもっている。全飼養頭数の、830万頭は、人口 400万の国の、国内消費には多すぎるが、輸出できるとなれば、生産体制はあることを示している。

1億円の牛肉(枝肉)とは、US\$ 2,000/トツとして、50千トツ、200kg/頭の枝肉として、25万頭分でしかない。2才以上の若牝牛群は 120万頭おり、と畜率 20%だから牛群を減らす心配はまったくない。

⑫ 牛肉輸出先 (表 P-05, 1991 年 1-11 月輸出ライセンス 発給ベース、トツ)

相手国	冷凍肉	冷蔵肉	調製品	計	%
1. 方州	4.075	20.886	-	24.962	70
2. 刊	2.565	715	4	3.284	9
3. アルゼンチン	6	2.870	-	2.876	8
4. その他	3.745	332	526	4.608	13
計	10.391	24.803	530	35.730	100

資料: ESTADISTICA GANADERA, 2/91, MAG (農牧省)

[2] 自然条件

① 気候

全国的にみると、年平均気温は、21-25°C、雨量は、900-1200ミリ程度。首都 アスンシオン (Asuncion)、農業と関係ある、エステ(Ciudad Del Este, フラソ側 マスデイグアスの対岸)、南部のエンカーニシオン(Encarnacion)、北西部のチャコ(Chaco)地方の中央、エステガリビア(Estigarribia)の気温(°C)、雨量(mm)を示す(表 P-06)。

表 P-06 パグアイ主要農業地帯の気候条件

	アスンシオン		エステ		エンカーニシオン		エステガリビア	
	気温	雨量	気温	雨量	気温	雨量	気温	雨量
1月	28	94	28	51	27	76	28	62
2月	28	146	28	111	26	114	27	23
3月	28	31	28	49	26	100	27	78
4月	22	33	22	13	19	26	23	15
5月	19	9	19	28	15	44	21	41
6月	19	57	19	88	16	67	21	204
7月	20	125	22	18	18	143	23	179
8月	17	21	18	18	16	60	19	71
9月	21	95	22	102	20	79	24	164
10月	24	298	25	194	23	106	28	178
11月	25	117	26	92	23	154	28	114
12月	27	52	27	143	26	130	28	101
平均/ 計	23	1076	24	905	21	1097	25	1231

11-2月が夏、6-8月が冬だが、各地とも、亜熱帯気候を示している。

② 土壌

最も広く分布している土壌型は、乾燥土壌(37%, 150千km²)で、アルゼンチン北部から続いて、パグアイ西部地方に分布している、栗色土(27%), ヲネツ(アルカリ土, 5%), 半砂漠土(5%)で、パグアイより乾燥した気候(雨量250-350ミリ/年)の土壌である。農業利用は、無理で、放牧畜産がおこなわれている。2番目が低湿地土壌(33%, 130千km²)。国の中央を流れるパグアイ河の西岸に大部分、東岸に一部ひろがり、放牧または水田として利用している。

3番目が、アスンシオン土壌など低肥沃度土壌(17%, 70千km²)。アスンシオン市周辺、さらに東部地方に広がる。4番目が、東部地方に広がる肥沃土壌(13%, 50千km²)。アルパチ土壌(フラソという構造的テラロッサ, 4%), 河川沿岸の沖積土壌(4%), テラロッサ(Terra Roxa, 濃赤褐色土壌, 3%)等が、広がっている。

[3] 農業

① 土地利用

国土面積 407千km²(西部 160, 東部 240千km²)は、表 P-07 のように利用されている。

表 P-07 分野別土地利用面積 (千ha, 1990年)

用途	農業(+)	畜産	林業	非農用地	計
面積	4.390	20.021	15.130	1.134	40.675
%	11	49	37	3	100

(+) 短期作物 4.235, 永年生作物 146, 野菜 9千ha。

資料: ESTADISTICA GANADERA, MAG(農牧省)

西部地方は、半乾燥気候の自然草地で、ウシ、ヤギ、羊が放牧され、農業は、東部でおこなわれている。特に、首都アスンシオン、真東に370kmのイタ、東南のイカサカを結ぶ三角形内の農業が、盛んで、アルバー(イタのある県)、イタ(イカサカのある県)、グアス(首都とイタの間にある県)、カンデュー(アルバーの北の県)、サンペドロ(アスンシオンの北東の県)の5県が大農業県である。

② 国内総生産(PIB, GDP)と農業生産

GDP と農業生産額の関係は、表 P-08 のとおり。

表 P-08 PIBと 農業生産(US\$ 百万ドル)

年	PIB	農業	畜産	林業その他	計
1982	3.578	557(16%)	274(8%)	94(2%)	925(26%)
1984	3.577	581(16%)	280(8%)	95(3%)	956(27%)
1986	3.720	538(15%)	294(8%)	107(3%)	939(26%)
1988	4.127	697(17%)	310(8%)	119(3%)	1.126(28%)
1989	4.367	765(18%)	323(7%)	124(3%)	1.213(28%)

資料: Cuentas Nacionales, No 26, BCP(バグアイ中央銀行), 1991

③ 主要農産物の生産

100千ha以上の収穫面積のある農産物の生産量、生産性は、表 P-09 のとおり。コムギに続く農作物はサトウキビ(Cana de Azucar) 47, マ(Poroto) 46, マニ(Mani) 38, タラゴ(Tarago) 33千haと、50千ha以下となっている。

表 P-09 主要農産物の生産(1989-1990年)

	収穫面積	生産量	kg/ha
1. コムギ	900千ha	1.795千ト	2.000
2. トウモロコシ	518千ha	1.139千ト	2.200
3. マ	509	643	1.260
4. マニ	240	3.550	14.800
5. コムギ	226	432	1.920

資料: Estimacion de la Produccion Agropecuaria, MAG (農牧省), 1991

④ 主要農産物の県別生産量

主要農産物の、主要農業県 5 県における生産量は、表 P-10 のとおり。

表 P-10 主要農産物の県別生産量 (千ト, 1989-90 年)

農作物	Itapua	Alto Parana	Caaguazu	Canindeyu	San Pedro
1. 大豆	531	914	60	134	60
2. トウモロコシ	169	428	113	134	65
3. 小麦	84	71	151	30	113
4. マンゴ	505	383	630	189	501
5. コメ	204	157	20	16	24

資料: Estimacion de la Produccion Agropecuaria, MAG (農牧省), 1991

⑤ トウモロコシ、大豆 生産進展状況

最近 5 年間の、トウモロコシと大豆の生産の伸びは、それぞれ 2.4 倍、2.7 倍で、養豚養鶏業のための飼料基盤は、準備できたといえよう (表 P-11, 千ha, 千ト)。

表 P-11 トウモロコシ、大豆の生産状況(1995-1990)

年度	85/86		86/87		87/88		88/89		89/90	
	面積	生産	面積	生産	面積	生産	面積	生産	面積	生産
トウモロコシ	376	469	567	1001	486	961	501	1000	518	1139
大豆	539	662	674	1179	766	1407	851	1615	900	1795

資料: Estimacion de la Produccion Agropecuaria, MGA, 1991

⑥ 永年作物

1990年における、主要永年作物の植付面積、生産本数、生産量は、表 P-12 の通り。

表 P-12 主要永年作物の生産 (千ha, 百万本, 千ト)

	植付面積	生産本数	生産量
1. アカシア(Tung)	30.6	8.7	163.4
2. ナランジャ(Naranja)	20.8	97.5	198.0
3. マテ(Mate, 茶)	20.6	14.4	43.9
4. コーヒー(Cafeto)	17.4	13.0	17.6
5. バナナ(Banano)	15.6	19.3	182.5

注. 生産本数とは、生産中の樹の本数。

資料: Estimacion de la Produccion Agropecuaria, MAG (農牧省), 1991

⑦ 野菜

89/90 年における主要野菜の栽培面積(ha)、生産量(kg)、生産性(kg/ha) は、表 P-13 の通りである。

表 P-13 主要野菜の生産(ha, トン, kg/ha)

	植付面積	生産量	生産性
1. ニンニク(Ajo)	330	750	2.270
2. エンドウ(Arveja)	1.800	1.490	830
3. サツマイ根(Batala)	11.000	84.700	7.700
4. タマネギ(Cebola)	5.000	29.800	6.000
5. ジャガイロ(Papa)	410	2.750	6.700
6. トマト(Tomate)	2.230	52.140	23.400
7. ニンジソ(Zanahoria)	790	5.700	7.200

資料: Estimacion de la Produccion Agropecuaria, MAG (農牧省), 1991

⑧ 林業

1940年、東部地方(160千km²)には、森林が85千km²あったが、1991年には30千km²(3百万ha。自然林2百万haと植林地が百万ha)になってしまった。現在の年間伐採面積は0.16百万haであるから、自然林(bosque natural)は、あと13年、つまり2005年には、なくなる計算である。1981-1989年について林産物の生産は、表P-14の通り。

表 P-14 林産物の生産(1981-1989, 千トン)

	1981	1983	1985	1987	1989	US\$(*)
1. 工業用材	1.511	1.447	1.466	1.878	1.798	51.4
2. 農業用材	237	243	258	274	292	4.8
3. タンニ用材	44	32	17	46	27	1.0
4. 電柱用材	293	293	308	323	336	3.6
5. 薪炭						
家庭用	1.120	1.136	1.194	1.255	1.305	4.8
工業用	1.526	1.454	1.526	1.549	1.637	32.9
木炭	154	154	163	173	179	6.9
6. その他	5	6	5	2	1	+
計	4.890	4.765	4.937	5.500	5.575	105.4

(*) 1989年生産額。百万ドル。

資料: Cuentas Nacionales No. 26, 1990

最も安価なものは家庭用薪炭(US\$ 4/トン)、高価なものは木炭(US\$ 39/トン)である。

⑨ 農業関連工業

1989年度の工業生産規模は686百万ドル(表P-15) 工業の約70%は農業関連である。

表 P-15 農業関連工業売上高(百万ドル)

	食品	木材家具	飲料煙草	繊維衣料	皮革	その他	計
売上	203	87	70	61	31	234	686
%	30	13	10	9	5	34	100

資料: Cuentas Nacionales 26, 1990

[4] 肉牛

① 飼養頭数の動向、年齢構成

最近 5年間の飼養頭数の動向をみると、1986年 7.151、1987年 7.374、1988年 7.780、1989年 8.074、1990年 8.254千頭と、約15% 頭数が増加している。

1990年について、牛群の年齢構成をみると、表 P-16 のとおりである。

表 P-16 牛群の年齢構成(1990 年)

1.	1才以下(Terberos)	971 千頭	12%
2.	1-2才牝(Toritos)	882	11
3.	1-2才牝(Vaquillas)	741	9
4.	2才以上の牝(Toros etc)	671	8
5.	同上牝(Vacas)	2.890	35
6.	2-3才若牝(Novillos)	571	7
7.	3才以上の若牝(Novillos)	608	7
	計	8.254	100

資料: Estimacion de la Produccion Agropecuaria, MAP(農牧省), 1991

② 地域的分布

東部(14 県、160 千km²、国土の39%)に 5.020千頭(61%, 31頭/km²)、西部(5県、247k m²、国土の61%)に 3.234千頭(39%, 13頭/km²)。自然草地は、15百万ha (国土の37%)で、平均牧養力は0.35頭/ha である。

主要県(Departamento)別の飼養頭数は、表P-17 のとおり。

表 P-17 肉牛の県別飼養頭数 (1990年, 千頭)

	県	面積	頭数	%	頭/km ²
△東部	Paraguari	9km ²	539 千頭	7	60
	Nhenbucu	12	507	6	42
	Misiones	10	501	6	50
	San Pedro	20	630	8	32
	Concepcion	18	626	8	35
	その他	91	2.217	27	24
△西部	Pte. Hayes(*)	73	2.591	31	35
	その他	174	644	8	4
	計	407	8.254	100	20

(*) Presidente Hayes

資料: Estimacion de la Produccion Agropecuaria, MAG(農牧省), 1991

③ と畜頭数の変動 (表 P-18)

表 P-18 最近 5年間の飼養、と畜頭数 (千頭) の変動

	1986	1987	1988	1989	1990
飼養頭数	7.151	7.374	7.780	8.074	8.254
と畜頭数	550	564	578	612	479
と畜率(%)	8	8	7	8	6
枝肉生産量(千ト)	121	124	127	135	105

(*) 千ト。実際の、と畜頭数は、この 2倍以上あるはずである。

資料: Estimacion de la Produccion Agropecuaria, MAG(農牧省), 1991

④ 1991年と畜統計

Meat packer(Frigorifico)における、輸出向け、月別、性別と畜頭数、枝肉重量 (ト) 平均と体重(kg)は、表 P-19 の通りである。

表 P-19 1991 年と畜統計

	と畜頭数	枝肉重	と体重	と畜頭数	枝肉重	と体重	合計枝肉重
1月	5.685	1.335	235	1.213	220	181	1.556
2月	7.691	1.808	235	3.874	729	188	2.537
3月	8.919	2.120	238	3.136	597	190	2.717
4月	10.429	2.465	236	3.347	631	189	3.096
5月	9.785	2.371	242	4.741	911	192	3.282
6月	10.884	2.591	238	3.775	720	191	3.311
7月	21.549	5.209	242	9.580	1.796	188	7.005
8月	34.881	7.993	229	10.169	1.844	181	9.838
9月	24.574	5.749	234	5.487	947	173	6.697
10月	28.950	6.643	229	5.083	892	176	7.536
11月	27.174	6.152	226	6.386	1.140	179	7.292
12月	20.228	4.677	231	4.752	891	188	5.568
計	210.749	49.114	233	61.543	11.320	184	60.433
%		81			19		100

資料: Estadistica Ganadera, 02/92, MAG (農牧省), 1992

このほか、国内市場向けの、と畜 (ト 151 ト 133, 計 284千頭) がある。
平均と体重を184kg とすれば、52千ト、あわせて112 千トの牛肉を生産したことになる。

⑤ 牛肉消費者価格

アソシエ市における、牛肉価格について、1990年3月から1991年12月までの価格の推移を表 P-20 に示した。

表 P-20 牛肉価格の推移 (G\$/kg)

	Lomito	Lomo	Carnaza 1a	Carnaza 2a	Puchero
91年 3月	3.98	2.41	2.20	1.89	0.73
6	3.00	2.49	2.44	1.97	0.83
9	3.02	2.53	2.54	2.15	0.94
12	4.04	3.44	3.47	2.53	0.91
92年 3月	3.98	3.50	3.40	2.80	1.08
6	4.26	3.13	2.93	2.42	0.96
9	4.50	3.50	3.15	2.12	0.96
12	4.02	3.21	3.18	2.14	0.97

注. Lomito=File Mignon, Lomo=Contra File, Puchero=Musculo
ゆるやかなイアルなので、G\$ (グァニー)表示のままにしておいた。

資料: ESTADISTICA GANADERA 02/92, MAG (農牧省)

⑥ 牛肉の輸出

1989-1991年の、牛肉輸出データを整理すると、表 P-21 のとおりである。

表 P-21 牛肉輸出実績(1989-1991年, ト)

	冷凍肉	冷蔵肉	調製品	計	%
1989年 方洲	6.503	58.675	-	65.178	91
スペイン	1.789	10	-	1.799	3
計	12.359	58.726	302	71.387	100
1990年 方洲	13.547	81.390	-	94.937	95
ボリビア	977	8	17	1.002	1
計	17.822	81.494	281	99.597	100
1991年 方洲	4.075	20.886	-	24.962	70
1-11月 州	2.565	715	4	3.824	9
州	2.853	23	-	2.876	8
スペイン	1.388	5	-	1.393	4
州	1.138	55	-	1.194	3
計	10.397	24.803	530	35.731	100

資料: ESTADISTICA GANADERA, 12/91, MAG (農牧省)

[5] 乳牛

① 搾乳牛頭数、品種、地域的分布

乳牛の飼養頭数は、推定 430千頭、うち 380千頭(89%) が雑種(Criollas)、40-50 千頭(10%) がホスタイン種とみられている。430千頭のうち 240千頭(55%) が搾乳牛で、年間牛乳生産量は、66千ト(1990年)、1 頭あたり年間搾乳日数 100日、搾乳量は、275kg 弱で、余乳の利用の域を出ない。地域的な分布をみると、表 P-22 のとおりである。

表 P-22 乳牛の県別分布 (千頭)

県	雑種	ホスタイン種	計	搾乳牛	%
1. San Pedro	32	2	34	17	50
2. Caaguazu	50	4	53	24	45
3. Itapua	32	3	35	21	58
4. Paraguari	50	3	54	29	54
5. Misiones	22	2	25	14	56
6. Alto Parana	9	3	13	8	65
7. Central(*)	14	10	23	17	74
8. その他	169	16	188	106	56
計	378	43	425	236	56

(*) 首都圏

資料: 聞き取り調査

② 牛乳生産の動向 (表 P-23, 千ト)

	1981	1983	1985	1987	1989
生産量	159	164	177	188	200

③ 地域別牛乳生産量 (表 P-24, 1990 年)

表 P-24 地域別、牛乳生産量(1990 年)

地域	県	生産量	搾乳牛
1. Asuncion	Central, Cordillera, Paraguari, Ple. Hayes	22.700ト	70千頭
2. Ciudad del Este周辺	Alto Parana	3.700	8
3. Encarnacion	Itapua	6.000	21
4. Cnel.Oviedo	Caaguazu, Guaira	9.000	35
5. Col.Mennonitas	Boqueron	5.000	16
6. その他	10 県	19.600	87
計		66.000	237

資料: 同上。聞き取り調査。

④ 生産者乳価

アソコ近郊酪農家の生産者乳価 (表 P-25) をみると、1985年の US\$ 0.18/リットルの底値を脱して、1982年の水準にもどりつつある。

表 P-25 生産者乳価

	1980	1982	1984	1986	1988	1990	1991
G\$/リットル	53	63	90	132	193	375	400
US\$/リットル	0.39	0.31	0.24	0.19	0.21	0.31	0.30

資料 : Estadística Ganadera, 10/91, MAG(農牧省), 1991

しかし、地方の酪農家は、表 P-26 のごとく、アソコ近郊酪農家の 70%程度しか受け取れない。

表 P-26 地方生産者乳価 (1991年 8月)

酪農地帯	県	ア市との距離	乳価/l	US\$/l
1. Colonia Menonita	Chaco	470km	300	0.22
2. Colonias Unidas	Itapua	400	280	0.21
3. Lactolanda	Caaguazu	185	290	0.22
4. Rio Verde	San Pedro	350	280	0.21
5. Asunion 周辺	Asuncion	-	390	0.29

資料 : Estadística Ganadera, 10/91, MAG(農牧省), 1991

⑤ 集乳量と処理、仕向け先

1991年1-11月の集計 (表 P-27) をみると、62千トンを受入れ、32千トンを市乳に、30千トンを加工に向けている。そして、2,055 トンのチーズ(原乳の20千トンにあたる)、10千トンのヨーグルト、660トンのミルキマラル、460トンのクリーム、240トンのアイスクリーム、140トンのバターを生産した。

表 P-27 原乳受入れと仕向け先

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	計
1. 受入	5.9	4.8	5.6	4.0	3.9	4.5	6.3	6.4	6.5	6.8	7.3	62.0
2. 市乳	2.4	2.7	2.6	2.0	1.9	2.1	2.8	3.7	3.8	4.0	3.9	32.0
3. チーズ	182	202	301	141	120	136	207	211	175	177	203	2055
4. ヨーグルト	657	738	569	567	656	810	805	1091	1105	1952	1211	10162
5. 乳葉	38	27	33	33	24	29	111	98	103	112	56	663
6. クリーム	66	51	25	22	19	37	45	41	48	56	56	463
7. アイスクリーム	-	-	-	-	-	-	-	60	60	60	60	240
8. バター	12	15	20	7	6	7	7	18	10	7	30	139

資料 : Estadística Ganadera, 12/91, MAG(農牧省), 1991

[6] ヲヨ、ヤ

① 飼養頭数の動向

最近5年間でみると、表 P-28 の通り、どちらも、約20% 増加している。

メヨ 456千頭は、東部 336(74%)、西部 120千頭(26%) となっており、県別にみると、Presidente Hayes (西部) 98, Caazapa 50 Neenbucu 47, ConcepcionとMisionesが、それぞれ 39 千頭と、これら5 県で 60%に達している。

一方、ヤは、東部 48(32%)、西部 100千頭(68%) で、県別にみると、Presidente Hayes 65, Boqueron 18, Alto Paraguay 10 千頭と、西部 3県で、63% をしめている。

表 P-28 ヲヨ、ヤの飼養動向 (千頭)

	1986	1987	1988	1989	1990
メヨ	388	411	430	449	456
ヤ	123	129	138	146	148

資料: Estimacion de la Produccion Agropecuaria, MAG (農牧省), 1991

② と畜頭数

メヨ、ヤのと畜頭数は、表 P-29 の通りで、平均と体重を15kgとすれば、メヨ、ヤを加えて 250千頭となり、枝肉で、3.750 トである。これは、600 千人の農民 1人あたり6kg となり、重要な動物タンパク質源である。

表 P-29 ヲヨ、ヤのと畜頭数 (千頭)

	1981	1983	1985	1987	1989
メヨ	149	154	166	172	179
ヤ	64	61	65	66	69

資料: Cuentas Nacionales, No. 26, BCP(中央銀行), 1990

③ 飼料基盤・牧草

メヨとヤをつなぐ、国道(Ruta) 7号線沿線、Caaguazu県 of 自然草地に、優先している牧草(野草)は表 P-30 の通り。

表 P-30 自然草地の牧草名

△ 科	一般名	学名
	1. Andropogon (メヨ Andropogon)	A. Lateralis
	2. Bermuda (メヨ Bermuda)	Cynodon dactylon
	3. Camalotillo	Paspalum repens
	4. Camalotillo-ra	Leersia hexandra

科	一般名	学名
	5. Cortadera-paja-brava (托属)	Panicum prionitis
	6. Jesuita(※ Missioneira)	Axonopus compressus
	7. Junco(カヤツリ科?)	Scirpus californicus
	8. Luziola	L. peruviana
	9. Pasto Bahia(※ Batatais)	Paspalum notatum
△ マメ科	1. Taja-taja(※ Desmodium)	Desmodium incanum
	2. 同上	Desmodium albiflorum
	3. Arvejilla(エドクマ)	
	4. Melilotus	M. alba/madrid
	5. Ceibo(マメ科の低木)	

資料 : Pastoreo Racional, Guillermo Lebron, 1989

[7] 豚

① 飼養頭数

飼養頭数 2,444千頭 (1990年)。国民 1人あたり、0.6 頭。アソソノと、エフ (Ciudad del Este, イタズ瀑布のある市) を結ぶ国道(Ruta) 2, 7 号線の両側の各県 (表 P-31) に広く飼養されている。

表 P-31 豚の県別飼養頭数 (千頭)

	1986	1987	1988	1989	1990	%
1. San Pedro	185	221	257	287	298	12
2. Caaguazu	187	222	248	276	289	12
3. Itapua	213	254	297	331	345	14
4. Alto Parana	250	299	332	365	395	16
5. Canindeyu	112	136	175	185	203	8
6. その他	561	677	799	861	914	37
計	1,508	1,809	2,108	2,305	2,444	100
7. >180日(※)	944	1,177	1,373	1,568	1,688	69
8. <180日(※)	564	633	735	738	757	31

注. (※) は日令。

資料 : Estimacion de la Produccion Agropecuaria, MAG(農牧省), 1991

② と畜頭数と豚肉生産量

中央銀行の資料と、農牧省の統計をつきあわせると (表 P-32, 1989 年) 2.3 百万頭の飼養規模で 1.9 百万頭を、と畜し、と畜率が 83% となる。しかし、この数字をうけいれると、肉豚生産評価額 (US\$ 40/頭 X 1.9 百万頭) 76 百万ドルで、肉牛生産評価額 (89 年と畜頭数 612 千頭、US\$ 123/頭で、75 百万ドル) より、やや高くなる。

表 P-32 7年の年間と畜頭数 (千頭) と豚肉生産量 (千ト)

	1986	1987	1988	1989	1990
1. 飼養頭数	1.508	1.809	2.108	2.305	2.444
2. と畜頭数	1.788	1.798	1.825	1.903	-
3. 豚肉生産量	118	119	120	126	-
4. と畜率	119	99	87	83	-

資料: Estimacion de la Produccion Agropecuaria, MAG(農牧省), 1991

[8] ニワトリ

① 飼養羽数の推移

パラグアイの加イテの年間生産羽数は6.5百万羽(1989年)。Avicola la Branca社(アソソワ近郊)が5.5百万羽で84%のシェアをもつ。1981-1989年の生産実績(表P-33)をみると8年間で加イテ羽数は2.5倍に、産卵鶏は、40%増加している。

表 P-33 加イテ、採卵鶏飼養羽数 (千羽)

	1981	1983	1985	1987	1989
加イテ	2.603	2.739	3.296	5.913	6.457
採卵鶏	1.535	1.655	1.763	1.971	2.132

② 採卵鶏飼養羽数

成鶏の飼養羽数2,000千羽。大手は、日系養鶏場(200千羽, シェア-17%), パラグアイ人養鶏場(70千羽, 6%)の2社。いずれもアソソワ市近郊にある。このほかアマバイ(Amanbai北部), アルパナ(Alto Parana, エスのある郡), エカルナシオン(Encarnacion, 南部)等に、200千羽ずつ程度飼養されている。

③ 鶏卵生産量

鶏卵生産量は20ダース(13kg)/年/羽として、40百万ダース(26千ト)であるが、統計には、59百万ダースとなっており、アル等の鳥卵がはいっているにしても、実際の産卵鶏羽数は、もっと多く、3,000千羽近いのではないかと考えられる。

表 P-34 鶏卵生産量

	1981	1983	1985	1987	1989
鶏卵生産量	551	581	620	660	704百万個
同上	46	48	52	55	59百万ダース

④ 加イテ、鶏卵価格

1991年1-12月の加イテ(Pollo, kg)と、鶏卵(Huevo, ダース)価格は、表P-35のとおり。

表 P-35 加工、鶏卵市場価格

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
鶏肉A	1.71	1.71	1.71	1.71	1.65	1.60	1.60	1.60	1.60	1.60	1.76	1.84
鶏肉B	1.98	1.98	2.02	1.88	1.95	1.88	1.85	2.00	2.04	2.00	2.00	2.21
鶏卵	1.03	1.18	1.31	1.21	1.14	1.08	1.06	1.11	1.03	1.11	1.08	1.11

注. 鶏肉A とは、加工 処理場での価格、B は、市場価格。

資料: Estadística Ganadera, 02/92, MAG (農牧省), 1992

[9] その他の家畜、家禽

① 馬

肉用ではないが、農耕運搬用に 300-330千頭が飼養されており、廃用馬（体重350kg）を年間 2千頭程度と畜し、輸出している。枝肉歩留は、50-55%（精肉歩留は枝肉の80-85%）と体重は 1頭あたり180kg。年間 160-240トンの輸出、FOB 価格は、US\$ 600-770ドル/トン程度。

1990年の飼養頭数は 330千頭。県別にみると、Presidente Hayes 47, Neenbucu 38, San Pedro 34, Itapua 30, Caazapa 29 千頭と続く。

② アヒとツマツヨ

アヒ(Patos) 460千羽 の10% 以上を飼養している県は、Itapua(76 千羽), Caaguazu (69), San Pedro(64), の 3県、ツマツヨ(Pavos) 60 千羽 は、San Pedro 8, Caaguazu と Paraguariが、それぞれ 7千羽。このほか、アヒ(Gansos)が40千羽、ツマツヨ(Guineas) 290千羽が飼養されている。 □

V. ウルグァイ (URUGUAY)

[I] 国のあらまし

① 沿革

国土面積 176千km² (日本 372千km² の47%)、人口 3.1百万人 (1990年)、都市部に87%と極端に都市集中である。行政上、国内を19県にわけており、首都は、モンテビデオ (Montevideo, 人口1.4百万人)。言語はスペイン語。10才以上の国民識字率は、95%で南米で最も高い。

経済活動人口 (14才以上) は 1.8百万人、政府民間サービス業40%、製造業22%、商業17%、建設業7%、運送業6%、金融業5%で、農林水産業従事者は、4%で、最も少ない。

② 国内総生産 (PBI, Producto Bruto Interno, GDP)

1983-1990年のPIBの動きは、表 U-01 のとおり。

表 U-01 国内総生産の動き (百万ドル)

	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990
PBI	5.077	4.830	4.717	5.857	7.327	7.582	7.818	8.218
1人当	1.709	1.616	1.568	1.936	2.408	2.478	2.541	2.656

資料: BCU (ウルグァイ中央銀行), 1991

1990年について、分野別にみると、製造業 (羊毛、皮革製品が中心) 25%、金融保険サービスが23%、社会個人サービス17%、商業及び農林水産畜産業が各11%、その他13%となっている。なお、GDPの仕向先は、個人消費70%、政府支出15%、その他15%である。

③ 通貨とインフ

ウルグァイペソ (peso)。表示 N\$ (アメリカドルをUS\$としている)。最近7年間の年間為替変動は表 U-02 のとおり。なお、1992年3月のレートは、US\$ 1.00=N\$ 1.720であった。

表 U-02 通貨価値の下落 (US\$ 1.00=)

	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991
N\$	101	152	227	359	606	1.171	2.019

④ 貿易収支 (表 U-03)

最近5年間の実績 (百万ドル) は、次のとおり。

	1987	1988	1989	1990	1991
輸出	1.182	1.405	1.599	1.693	1.596
輸入	1.142	1.112	1.136	1.267	1.622
収支	40	292	463	426	(-)26

⑤ 輸出構造 (1990年)

輸出の85%は農畜産物と畜産加工品で、輸出先は、ALADI (Latin American Integration Association, ラテンアメリカ経済統合) 諸国が40%をしめている。(表 U-04)。

表 U-04 輸出構造(1990 年)

	百万ドル	%	輸出先	百万ドル	%
1. 冷蔵冷凍牛肉	216	13	1. アルゼンチン	82	5
羊肉ほか	206	12	ブラジル	502	30
2. 米	102	6	南米諸国	81	5
その他農産物	90	5	2. アメリカ カナダ	188	11
3. 加工食品	67	4	3. ドイツ	130	8
4. 皮革製品	234	14	4. EC諸国	283	17
5. 羊毛	309	18	5. 東欧	115	7
その他毛製品	178	11	6. 中東	104	6
6. その他	273	16	7. その他	204	12
計	1.693	100	計	1.693	100

資料: URUGUAY EN CIFRAS, 1991 要約

⑥ 輸入構造 (1990年)

表 U-05 のごとく、1. のALADI 諸国からの輸入が約50% をしめている。

表 U-05 輸入構造(1990 年)

	百万ドル	%	輸入先	百万ドル	%
1. 原油	175	13	1. アルゼンチン	222	17
鉱産物	49	4	ブラジル	303	23
2. 化学製品	219	16	ALADI	127	9
3. プラスチック製品	115	9	2. アメリカ カナダ	150	11
4. 電気製品	254	19	3. ドイツ	88	7
5. 輸送機器	140	10	EC諸国	171	12
6. その他	391	29	4. その他	282	21
計	1.343	100	計	1.343	100

資料: URUGUAY EN CIFRAS, 1991 要約

⑦ 経済政策

自由貿易経済体制をとっているため、為替管理がない。基本的な経済政策は、輸出指向型で、そのため、輸入も無差別、数量制限もない。輸入関税は、原材料の10% から、完成品の45% まで。輸入枠や、非関税障壁はなく、輸入ライセンス も自動的に発給される。輸出においても、ごく一部の原材料を除いて、輸出税は、かからない。輸出を目的とする製品の、原材料の輸入税は減免措置がある。

現在 アルゼンチン、ブラジルと、ウグアイ 産品の輸出入について、アグメント があるが、95年 1月からの MERCOSUL の発足で、まったくのフリートレードの状態になる。

⑧ 外資規制

外資は、国内資本と差別されない。したがって会社設立、輸出入、利益送金、輸出義務、国産原料使用義務などについての制限はない。工業、輸出振興法に基づく優遇措置についても、同様である。

⑨ 工業生産の構造 (表 U-06, %, 1990年)

食品	飲料	煙草	繊維	皮革	製紙	化学	鉱物	ゴム	機械	その他	計
16.0	8.2	4.9	10.3	6.7	5.8	23.5	4.8	3.4	11.8	4.6	100.0

⑩ ラフタ河横断鉄橋建設

首都 モンペイアの西方 170km の Colonia Del Sacramento (略称 コニエ) と対岸の マリアリアをつなぐ全長 36km の鉄橋をかけるべく、社会、経済効果の測定がおこなわれている。

現在、フェリーで約 3 時間、さらに、コニエ-モンペイア間 2.5 時間かかる。フェリーの部分が、僅か 30 分で結ばれることになる。総工費 450 百万ドル。ラフタ河の中央部の 2km のみ、水深が深い。残り 34km は、水深数メートルで、難工事ではないとされる。ちなみに、東京湾横断道路は全長 30km である。

[2] 自然条件

① 気温と雨量

国全体が、丘陵で、平均標高は、約 100m。年平均気温は、17°C、モンペイアの冬 7 月で 10°C、夏 1 月で 23°C 程度。モンペイア、タラソボ (モンペイアの北、約 400km、農業中心地) における、月別気温 (°C) 雨量 (mm) は、表 U-07 のとおり。

表 U-07 カグアイの気候

月	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	計
モンペイア気温	23	23	20	17	14	11	10	11	14	17	20	22	17
雨量	92	84	122	87	78	55	42	58	88	100	79	90	976
タラソボ気温	24	23	20	17	13	11	10	11	14	17	20	23	17
雨量	118	102	145	99	54	42	39	37	80	84	92	93	986

資料:

② 土壌

カグアイに最も広く分布している土壌は、アルゼナから続く、湿潤および亜湿潤のババ土壌で、大草原 (campina, 英 prairie, フリ) を形成している。土壌中の植物養分の溶脱が少なく、牧草や農作物の生育に対して最適の土壌である。

河川の沿岸には、プランソル (Planosol)、グレイソル (Gleysol) という、粘土質土壌が広がっている。この土壌は、程度にもよるが、水分保持力がよいということであり、乾期において、利用できる水分があるといえる。したがって、休耕田の様に、一時的な停滞水にたえる農作物の栽培にも利用されている。

[3] 農業

① 主要農産物の生産量

1986年の調査によれば、国土の88%(15.5百万ha)が農業、畜産に利用できる。農場数57千。うち15千が平均1,000haの所有規模で、農地の97%をしめる。これらは、Estancia(牧場)とよばれ、広大な自然草地を利用して、肉牛の飼育を、残りの42千の零細農家が穀物、果実、野菜を生産し、また酪農業に従事している。

穀物に対する価格支持制度は、70年代末に廃止され、約百万haの耕地は畜産に転向したが、残った穀物生産農家は、生産性を大巾に引き上げた。例えば、冬作の穀類(コムギ、エウロ、オムギ等)は、1976/77年の0.9ト/haから、1987/88年の1.6ト/haへと、80%も向上させた。コムギは、85千haの栽培面積で、アメリカなみの5ト/haの生産をあげているが、国内需要は、15%(80千ト)しかないので、輸出にむけられている。

1988-1990年における、主要農産物の生産量は、表 U-08 のとおりである。

表 U-08 主要農産物の生産量 (千ト)

	1988	1989	1990
01. コムギ	308	414	542
02. トウモロコシ	118	60	101
03. オムギ	389	520	357
04. エウロ	58	63	70
05. ビールムギ	124	204	203
06. ソルガム	121	79	69
07. ヒマワリ	33	48	45
08. テンサイ	256	141	208
09. サウダ	495	599	683
10. ジャガイロ	143	128	118

資料: MGAP(Ministerio de Ganaderia, Agricultura e Pesca, 畜農水省) 03/1992

② 夏作 3作物の生産量

ウルグアイの主要夏作物は、トウモロコシ、ヒマワリ、ソルガムである。作付の傾向をみるために、82-92年の推移をみると、表 U-09のとおりである。

表 U-09 夏作の作付面積の動向 (千ha)

	82/83	83/84	84/85	85/86	86/87	87/88	88/89	89/90	90/91	91/92
トウモロコシ	93	86	98	76	88	74	76	61	83	80
ヒマワリ	44	71	55	77	67	47	66	59	68	90
ソルガム	56	48	73	40	31	45	38	26	32	48

資料: 同上

トウモロコシの作付が、-3%、ヒマワリ、ソルガムが、それぞれ 44%、7% 作付けがふえている。

[4] 肉牛

ブラジルの農畜産の生産統計は、ウシのと畜頭数にはじまる。農業生産額より、畜産生産額の方が多いためである。したがって、農水省の名前も、畜農水省(Ministerio de Ganaderia, Agricultura e Pesca, 略称 MGAP)である。

① 肉牛飼育頭数

肉牛は、ブラジルの畜産を牽引する部門で、国民 1人あたりの年間60-70kg の消費を支えかつ、年間輸出17億ドルのうち、2億ドルの外貨を稼ぐ。

飼育頭数は 9百万頭、その性別、年齢別頭数、と畜頭数、牛肉生産量は、表 U-10 のとおり。

表 U-10 ウシの飼養頭数、と畜頭数(千頭)と牛肉生産量(千ト)

	1988	1989	1990
1. 種牡去勢牛	188	163	153
2. 成牝牛	3.889	3.282	3.177
3. 若牝	1.647	1.705	1.167
4. 若牝	2.552	2.558	2.606
5. 子牛	2.055	1.705	1.167
計	10.331	9.449	8.723
6. と畜頭数	1.400	1.861	1.594
7. 牛肉生産量	304	371	358
8. 国内消費	194	200	178
9. 輸出	110	171	180

資料: INAC(Instituto Nacional de Carnes)

② 品種

欧州種で、ヘルフォード(Hereford 英)、アングス(Angus 英)、ショートホーン(Shorthorn 英)、シャルライス(Charolais 仏)、ノルマンディ(Normandy 仏)、フレックビー(Fleckvieh, 独)等。

③ 生産基盤、自然草地

ブラジルは、気候条件からみて、温帯に属するが、北部は、Andropogon(Big, Little, Sand Bluestem), Axonopus(ブラジルでは ミッションeira, missioneira, アルベチノ, ブラジル ブラジルでは ヴェイタ, jesuita, ヴェイタ 教派の伝導僧がすすめたので、この名がついたといわれるが数千年前から自生しているとみられる), Chloris (ロズグラス, Rhodes grass), Panicum (雑属), Paspalum(クリス/パイグラス)、南部では、Bromus(ブームグラス), Lolium(Azevem, イタリノライグラス), Poa (ポアグラス), Stipa(Needle grass)、さらにマメ科牧草で、ウマヤシと同属のMedicago (バクローバ, Burclover, Trevo carretilha) が、野生化している。

④ 性別、と畜頭数 (表 U-11, 千頭)

年	牝	若牝	子牛	牝	計
1988	495	672	60	31	1.258
1989	893	673	78	37	1.681
1990	607	744	30	26	1.407

資料: MGAP

⑤ と畜の季節性 (表 U-12, 1990年, 千頭)

月	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	計
頭数	119	103	118	121	164	172	137	94	98	95	93	93	1.408

資料: MGAP

月間平均と畜頭数は、117 千頭であるから、8-12月 (春-夏) が端境期である。

⑥ と体重と歩留 (表 U-13, 1990年, kg)

	牝	若牝	子牛	去勢牝	牝	平均
生体重	408	490	223	695	521	451
と体重	200	257	111	359	273	230
歩留 %	49	52	50	52	52	51

資料: MGAP

若牝の生体重 450-500kgは、方牝と同様。去勢牝は、労役の終わったウである。

⑦ 生体、と体価格の季節性 (表 U-14, US\$/KG, 1990年)

月	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	平均
生体	0.51	0.52	0.58	0.53	0.54	0.54	0.60	0.61	0.71	0.68	0.63	0.55	0.57
と体	1.01	1.02	1.11	1.05	1.07	1.08	1.17	1.18	1.35	1.33	1.23	1.05	1.12

価格的にみると、7-11月 (晩冬-初夏) の取引価格が高い。

⑧ 大手と場 (表 U-15, 1990年, 千頭)

MGAP登録と場は、35社。全と畜頭数(1.408千頭, 1990年)の5%以上をと畜した、と場は、表 U-15 のとおり。

	牝	若牝	子牛	牝	計
1. Jacuarembó	32	94	-	2	128
2. San Jacinto	53	74	+	+	127
3. Carrasco	45	75	+	+	120

	双	若双	子牛	双	計
4. Cruz del Sur	48	47	3	1	100
5. La Caballada	18	55	+	+	74
6. Ind. Pando	35	30	3	3	71
7. その他	376	369	24	21	788
計	607	744	30	26	1.408

⑨ 牛肉輸出(表 U-16, 1988-1990年, 千ト, 百万円, US\$/kg)

	1988			1989			1990		
	数量	金額	単価	数量	金額	単価	数量	金額	単価
冷蔵肉	10	26	2.64	26	42	1.61	64	94	1.48
冷蔵肉	106	105	0.99	131	142	1.09	101	122	1.20
計	116	132	1.13	156	184	1.18	165	216	1.31
その他	15	11	0.73	21	18	0.86	27	27	1.00
計	131	143	1.09	177	202	1.14	192	243	1.27

注. その他とは、ビーフ、ミス、ジャー、牛肉調製品等。

資料: INAC, 1991

⑩ 牛肉大口需要国(表 U-17, 1988-1990年, 千ト, 百万円, US\$/kg)

	1988			1989			1990		
	数量	金額	単価	数量	金額	単価	数量	金額	単価
1. 方ル	11.6	9.9	0.85	36.1	40.4	1.12	69.8	89.3	1.28
2. 英国	9.5	27.8	2.93	12.6	37.4	2.97	11.2	32.7	2.92
3. イラ	13.8	20.1	1.46	12.0	19.7	1.64	12.0	23.7	1.98
4. アリカ	1.8	4.6	2.56	2.1	6.6	3.14	4.6	16.4	3.57
5. ドイツ	3.2	14.6	4.56	4.0	16.0	4.00	4.1	16.1	3.93
6. フラ	2.5	4.5	1.80	2.7	7.2	2.67	3.3	8.2	2.48
7. カリ	1.3	2.9	2.23	3.1	6.4	2.06	3.1	7.1	2.29
8. エ	10.3	11.7	1.14	5.5	7.3	1.33	5.3	6.9	1.30
9. その他	26.8	47.0	1.75	35.3	61.4	1.74	22.5	43.0	1.91
計	80.8	143.1	1.77	113.4	202.4	1.78	135.9	243.4	1.79

資料: INAC, 1991

⑪ 全畜肉輸出統計(表 U-18, 千ト, 百万円)

ここで、全畜肉の輸出統計を掲げる。これによって、牛肉輸出の重要性が理解できる。
金額% とは、全輸出額に対するパーセンテージである。

表 U-18 全畜肉の輸出統計(千ト, 百万円)

	1988			1989			1990		
	数量	金額	金額%	数量	金額	金額%	数量	金額	金額%
牛肉	80.8	143.0	76.7	113.4	202.4	75.5	135.9	243.4	75.9
羊肉	8.1	11.1	5.9	17.9	25.9	9.6	23.1	31.4	9.8
馬肉	1.3	1.1	0.6	2.6	3.7	1.4	3.6	6.3	2.0
鳥肉	2.8	2.4	1.3	2.8	2.6	1.0	3.2	2.9	0.9
牛屑肉	5.5	6.8	3.7	8.0	10.8	4.0	7.5	10.9	3.4
副産物	39.9	20.7	11.1	40.9	22.1	8.2	45.8	24.2	7.6
その他	0.6	1.4	0.7	0.4	0.7	0.3	1.1	1.7	0.4
計	139.0	186.5	100.0	186.0	268.2	100.0	220.2	320.8	100.0

資料: INAC, 1990

⑫ 大手輸出業者

輸出額でみると、と畜業者(Frigorifico, meat packer 30社)が90%、輸出業者(35社)が10%をしめているが、そのうち、大手5大カンパニーが、輸出額の、約50%をしめている(表 U-19)

表 U-19 牛肉輸出業者の内訳(百万円)

	1988		1989		1990	
	金額	%	金額	%	金額	%
1. Tacuarembo	26.3	14	29.6	11	36.3	11
2. San Jacinto	24.6	13	31.4	12	35.5	11
3. Carrasco	29.9	16	36.0	13	32.7	10
4. La Caballada	20.8	11	25.1	9	24.3	8
5. Colonia	20.5	11	16.5	6	20.1	6
6. その他	45.4	24	138.4	52	133.8	42
7. 輸出業者	19.0	10	20.9	8	37.8	12
計	186.5	100	268.2	100	320.8	100

資料: INAC, 1990

[5] 乳牛

① 酪農家戸数と生産乳量

乳牛の飼育頭数は、約 500千頭、酪農家 6,000戸（1982年 7,000戸）が、牛乳を、組合または、乳製品工場へ出荷している。1戸あたりの年間出荷乳量は、60-120トである（表 U-20）。

表 U-20 酪農家の出荷乳量

	CONAPROLE(*)	農家数	出荷量(**)	乳製品工場	農家数	出荷量(**)
1982	379 千ト	5,138	74ト	116 千ト	2,070	56ト
1984	431	5,350	81	90	1,502	60
1986	508	5,490	93	133	1,788	74
1988	526	4,814	109	134	1,571	85
1989	536	4,601	117	142	1,492	95

(*) ウグァイ最大の酪農協同組合。全国集乳量の80%は、同組合扱い。

(**) 1戸あたり年間出荷乳量

資料: CILU(Camara de la Industria Lactea del Uruguay, ウグァイ乳製品工業会)

② 牛乳の生産構造

1980-1989年の、牧場における牛乳生産量、そのうち自家消費、加工を除いて、組合、工場へ集乳された乳量、それが飲用牛乳あるいは、乳製品加工に向けられた数量をまとめたのが、表 U-21 である。

表 U-21 牛乳生産、集乳量 (百万リットル)

	1980	1981	1982	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989
生産	795	805	818	840	836	894	930	958	960	975
集乳	470	487	495	572	521	586	641	635	661	678
組合	368	376	378	465	431	485	508	504	526	536
工場	102	111	117	106	90	110	133	131	134	142
市乳	196	196	196	195	196	184	187	194	204	211
加工	274	291	299	377	325	402	454	441	457	467

資料: CONAPROLE

集乳量は生乳生産量(980千kl)の70%であるから、農家ベースで、30%(300千kl)の牛乳は、飲用あるいは、チーズ、アイスに加工され、流通していると考えられる。

③ 集乳量の季節性 (表 U-22, 月間変動, 千ℓ, 1990年)

月	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	計
集乳量	62	52	56	48	49	46	50	55	59	73	75	74	699
市乳向	18	17	18	18	19	19	19	19	19	20	19	19	224
加工向	44	35	38	30	30	27	31	36	40	53	56	55	475

資料: CILU, 1991

月間平均集乳量 58 千ℓ、同加工量、40千ℓだから、10-1月の4ヶ月間は、加工の繁忙期である。

④ CONAPROLE

酪農協同組合である、CONAPROLE(Coop. Nacional de Productores de Leche) の集乳量が、80% をしめるから、ウグワイの酪農、乳業は、CONAPROLE を、中心に動いている。

10年間を平均すると、集乳量のうち、飲用牛乳にまわるのが34%、加工用が66%。

また、乳製品の80-90%は、CONAPROLE の生産で、残りの10-20%を14社が加工している。

⑤ 乳価変動 (表 U-23, ℓ当US\$, 脂肪率 3.4% 牛乳に換算)

	1980	1981	1982	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989
市乳向	215	224	228	204	184	184	181	170	157	166
加工向	124	125	126	136	112	131	117	99	100	144
平均	166	168	171	160	143	147	135	123	117	149

資料: MGAP

⑥ 乳製品製造量

乳製品の主要品目は、バター、チーズ、粉乳である。1987-1990年の、製造実績は表 U-24 のとおり。

表 U-24 乳製品製造統計(1985-1990年, ト)

	1985	1986	1987	1988	1989	1990
1. バター	11.534	11.848	12.226	12.929	13.413	13.568
2. チーズ	15.967	16.756	16.233	16.366	18.668	16.480
3. 粉乳	5.856	6.579	10.527	11.385	11.820	13.257
4. ヨーグルト	4.934	6.019	6.188	5.985	7.699	5.514
5. ミルクキャラメル	2.889	3.296	3.876	3.551	3.599	4.806
6. カゼイン	4.215	3.067	1.697	1.139	1.400	1.929
7. クリーム	1.165	1.069	1.008	1.295	982	1.027

資料: MGAP, CILU(1990)

⑦ 乳製品の輸出

表 U-25 乳製品輸出統計(1997-1990年, ト)

	1987	1988	1989	1990
1. パウ	7.718	10.245	6.761	12.626
2. チーズ	5.554	6.412	7.465	7.300
3. 粉乳	5.281	6.256	8.018	7.407
4. その他	5.545	6.048	3.446	4.430
計	24.098	28.961	25.690	31.763
輸出額(千ドル)	39.180	47.650	61.025	73.226
平均FOB/kg	1.63	1.64	2.38	2.31

資料: LATU(Laboratorio Tecnologicco del Uruguay), 1991

⑧ メーカー別輸出数量

表 U-26 メーカー別輸出数量(ト)

	1987	1988	1989	1990
1. CONAPROLE	21.315(88)	25.170(87)	21.384(83)	28.680(90%)
2. PILI	887(4)	1.419(5)	1.495(6)	1.552(5%)
3. その他14社	1.896(8)	2.372(8)	2.811(11)	1.531(5%)

資料: CILU, 1991

CONAPROLE が輸出においても、圧倒的なシェアをもっている。

⑨ 主要輸出先

1990年発行のCILUの資料は、輸出先別の品目、数量を示している(表 U-27)。

表 U-27 乳製品輸出先別、品目数量

	ブラジル	イタリヤ	メキシコ	キューバ	アルゼンチン	その他	計
1. パウ	2.442	9.841	210	-	123	10	12.626
2. チーズ	3.354	-	2.759	-	68	1.119	7.300
3. 粉乳	3.682	-	-	3.000	6	719	7.407
4. その他	366	-	2.349	-	560	1.155	4.430
計	9.844	9.841	5.318	3.000	757	3.003	31.763

資料: CILU, 1991

⑨ チーズのタイプ別生産量(表 U-28, ト)

年	Duro	Semi-duro	Blando	Outros	計
1988	1.342	2.137	10.825	2.062	16.366
1989	1.733	6.556	8.280	2.100	18.668
1990	1.184	4.927	8.631	1.737	16.480

資料: CILU, 1991

[6] 羊

① 飼養頭数

1988-1990 年における羊飼養頭数は、ほとんど変化なく、25百万頭を維持している。

(表 U-29)

表 U-29 羊飼養頭数の変動 (千頭)

	1988	1989	1990
1. 成羊	422	422	421
2. 成羊	11.653	11.548	11.960
3. 去勢羊	5.270	5.963	5.337
4. 若羊	4.326	4.212	4.320
5. 若羊	2.536	2.195	2.608
6. 子羊	482	532	574
計	24.689	24.872	25.220

資料: INAC, 1990

② 性別と畜頭数 (表 U-30, 千頭)

表 U-30 羊と畜頭数

	1988	%	1989	%	1990	%
1. 成羊+去勢	460	40	1.267	52	759	39
2. 若羊+子羊	356	31	659	27	837	43
3. 成羊	343	30	526	21	349	18
計	1.160	100	2.452	100	1.944	100

注. この頭数には、地方と場、自家消費を含まない。含むと2倍以上の頭数となると思われる。

③ と畜の季節性 (表 U-31, 1990 年, 千頭)

月	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	計
頭数	310	152	63	30	18	25	26	74	126	261	448	410	1.944

月間平均と畜頭数は 162千頭であるから、10-2月 (春-夏) が 刈(収穫期) である。

④ と体重と歩留 (表 U-32)

	成羊	去勢	子羊	若羊	成羊	平均
生体重 kg	39	44	22	31	54	34
と体重 kg	17	20	10	14	25	16
歩留 %	44	46	45	45	46	45

資料: INAC, 1990

⑤ 生体、と体価格の季節性 (表 U-33, US\$/kg, 1990年)

月	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	平均
生体	0.28	0.28	0.31	0.35	0.31	0.41	0.41	0.42	0.35	0.33	0.31	0.30	0.34
と体	0.62	0.64	0.71	0.81	0.72	0.96	0.91	0.91	0.75	0.71	0.68	0.67	0.74

資料: INAC, 1990

⑥ 大手と場のと畜頭数 (表 U-34, 千頭, 1990年)

	成奴	去勢	子羊	若奴	計	%
1. San Jacinto	57	160	2	5	224	12
2. Las Piedras	22	27	120	14	183	9
3. Durazno	73	77	13	8	172	9
4. La Paz	43	81	22	18	164	8
5. Granjeros	16	31	74	11	132	7
6. Carrasco	24	78	12	7	121	6
7. その他	113	301	453	82	948	49
計	348	755	696	145	1,944	100
%	18	39	36	7	100	

資料: INAC, 1990

⑦ 羊肉輸出 (表 U-35, 千ト, 百万ト, US\$/kg)

	1988			1989			1990		
	数量	金額	単価	数量	金額	単価	数量	金額	単価
冷蔵肉	1.3	1.8	1.46	2.8	4.5	1.63	2.5	3.4	1.34
冷凍肉	8.7	9.2	1.06	19.9	21.3	1.07	25.4	27.9	1.10
その他	+	0.2	-	+	0.2	-	0.1	0.4	-
計	10.0	11.2	1.12	22.7	26.0	1.15	28.0	31.7	1.13
大口顧客									
1. 行カ	5.6	5.9	1.05	10.7	10.1	0.94	6.4	6.3	0.98
2. サカアテ	0.4	0.4	1.00	1.8	2.1	1.17	5.8	6.6	1.14
3. フイ	3.0	3.6	1.20	7.5	10.5	1.40	5.3	7.5	1.42
4. アカアテ	-	-	-	-	-	-	4.0	4.3	1.08
5. アカ	0.1	0.1	1.00	1.6	-	-	3.3	2.9	0.88
6. その他	0.9	1.1	1.22	1.1	-	-	3.2	3.8	1.19
計	10.0	11.1	1.11	22.7	25.9	1.14	28.0	31.4	1.12

資料: INAC, 1990

① 飼養頭数、と畜頭数、と畜率

飼養頭数 300千頭、と畜頭数、88年 147, 89年 139, 90年 147千頭で、と畜率は、約50%。枝肉重70kg/頭として、10千トンの豚肉が生産されている。牛肉が安く流通しているから、豚肉は、ム、サセテ、ヤコフ に加工される。

国民一人あたり消費量は、3kg/年程度。もちろん輸出は0。

② と畜頭数、価格の季節性(表 U-36, 千頭, US\$/kg, 1990年)

月	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	計
頭数	11	10	11	10	12	11	12	13	11	13	15	18	147
生体	0.75	0.71	0.68	0.76	0.84	0.83	0.80	0.85	0.87	0.84	0.79	0.76	0.81
と体	0.95	0.90	0.87	0.96	1.09	1.06	1.03	1.08	1.11	1.07	1.01	0.98	1.00

資料: INAC, 1991

クリスマス 需要向けの11-12月以外は、と畜頭数は動かず、価格は5-10月の秋冬が高い。

③ 大手と畜場と、と畜実績(表 U-37, 千頭, 千ト, 1990年)

	成豚	子豚	計	枝肉生産量
1. Ottonello	47.2	1.7	48.9	4.74 千ト
2. Ind. Pando	34.5	0.5	35.1	3.46
3. Callivelli	19.8	3.3	23.1	2.02
4. 他 9社	33.1	6.9	39.9	3.40
計	134.6	12.4	147.0	13.63
5. 生体重	128kg	19kg	118kg	
と体重	100kg	13.5kg	92kg	
歩留	78%	71%	78%	

資料: INAC, 1991

① 馬肉輸出関連データ(表 U-38, 千頭, 千ト, 百万円)

	1988	1989	1990
1. と畜頭数	8.8	17.4	27.5
2. 馬肉生産量	1.27	2.60	3.65
3. 輸出額	1.15	3.66	6.26
4. FOB US\$/kg	0.90	1.41	1.72
5. 主輸入国	フランス	フランス	ドイツ
6. 輸入数量ト	843	1306	1094

資料: INAC, 1991

[9] ニトリ

① 肉用鶏 (ブロイラー)

年間生産羽数は、10百万羽(1990年)、Granja Avicola Moro(6.5百万羽)、Frinavur(1.8百万羽)が、圧倒的シェアを握っている。うち25%が輸出に向けられている。

② 鶏肉の輸出

最近3年間の鶏肉輸出量、輸出額、仕向先は、表 U-39 のとおりである。

表 U-39 鶏肉輸出実績 (ト, 千ドル)

輸出先	1988		1989		1990	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額
1. アルゼンチン	51	51	459	503	1632	1492
2. ブラジル	453	457	487	547	473	539
3. カナダ	-	-	-	-	455	454
4. キューバ	1017	844	-	-	-	-
5. ドミニカ	636	710	954	986	-	-
6. サイロン	514	273	583	327	414	233
7. その他	119	103	300	213	259	186
計	2790	2438	2783	2576	3233	2904

資料: INAC, 1991

③ 産卵鶏

飼養羽数は、1,000千羽。ブロイラー同様、Granja Avicola Moro が500千羽を飼養し、50%のシェアを持っている。鶏卵生産量を、24ダース/1000羽/年とみて、24百万ダースの生産とみられる。この鶏卵生産量は、国民1人あたり、96個にあたる。 □

JICA